

---

# 崖の上

犬狼院犬丸

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

崖の上

### 【Zマーク】

Z7680

### 【作者名】

犬狼院犬丸

### 【あらすじ】

崖の上に座る「私」の話

私は海の見える崖の上に足を投げ出して座っていた。

横にいる彼はずっと家族のことや仕事などの他愛もない話をしている。

私は「はあ。」とか「そうですか。」と相槌を打つていいだけだった。

「あのう。 勝さん。<sup>まさる</sup>」

不意に後ろから声をかけられたので、私は後ろを振り向いた。

若い女性が驚いた顔をして立っていた。

「誰と話しているんですか。」とその女性が私に尋ねてきた。

「えーと」と呟きながら横を見た。

先ほどの彼はいなかつた。

誰だつたのか。と思つていると横に彼女が座つていた。

座つている女性は誰だつたかを思い出そうとしている私を見ながら彼女は家族のことや友達の話をし始めた。

前の人もその前の人も皆が私に「誰」と話をしているか聞いてくる。前の人もその前の人も皆・・・私は思い出せない。

皆が他愛もない話をする。

私は相槌を打つだけだった。

(後書き)

堺の街とは違う「私」の話。  
永遠に続くような形の話なので似たような話があるかもしれません。  
オリジナルとして書いていますが、そうでないようでしたら  
削除しちゃうと思います。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7680/>

---

崖の上

2011年1月27日03時30分発行